

自ら学ぶ教職員 活動報告書

グループ名 笠郷小学校メンターチーム「ゆずり葉の会」

テーマ いつでもどこでも学べる研修アプリの開発

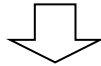
取組のポイント・成果

本事業の目的は、忙しい中でも現場にしながら簡単に短時間で、学ぶことのできるオンライン研修環境を整備することである。

現状の課題

- ・現場を離れて研修することが難しい。
- ・でも、優れた授業実践や有名講師の講座から学びたい。

取組



「いつでもどこでも学ぶことのできる研修環境」を若手と共に構築！
<メンバー>

主に再計配、新採3年目まで、講師の若手メンバー等で構成：7人

<開催日時>月1回程度（6/12,7/10,8/28,9/19,10/6,11/27,1/29）

<内容>・働き方改革（デジタル仕事術 etc）

- ・理科安全指導（大日本・学図・教出・啓林・理科3～6年）
- ・授業づくり・学級経営に関する情報収集（別紙）

成果

1. インターネット上の優れたオンライン研修から学ぶことができた。
2. 優れた研修サイトを選別することができるようになった。
3. Googleアプリ等（作成・設定・保守管理業者委託）を活用して、日常的な実践交流を行うことができた。これまで若手教員への支援は、学年主任を中心になって行ってきた。本事業では、管理職、学年主任が指導する内容と重複しない内容について、若手の困り感をキャッチアップし、指導や指示ではない対話と協力による若手同士のつながりを大切にしてきた。若手職員からは、「みんなで話し合ったりして学び合うことができています。」という声を聞くことができた。



11月の研修の様子 教科書研究



今後の課題

- ・本格的なアプリ開発といっても、さらに高度なアプリ開発は予算の都合上実施できなかった。
- ・今後、教育ビッグデータやAI分析の発展によって、教師は、より高度な情報収集、情報の吟味、総合的な意思決定をすることのできる力が求められてくる。本事業のように「いつでもどこでも学ぶことのできる環境」を整備し、教師一人一人が学び続ける教師になれるとよい。